

ぜん ぎょう じ
善巧寺報

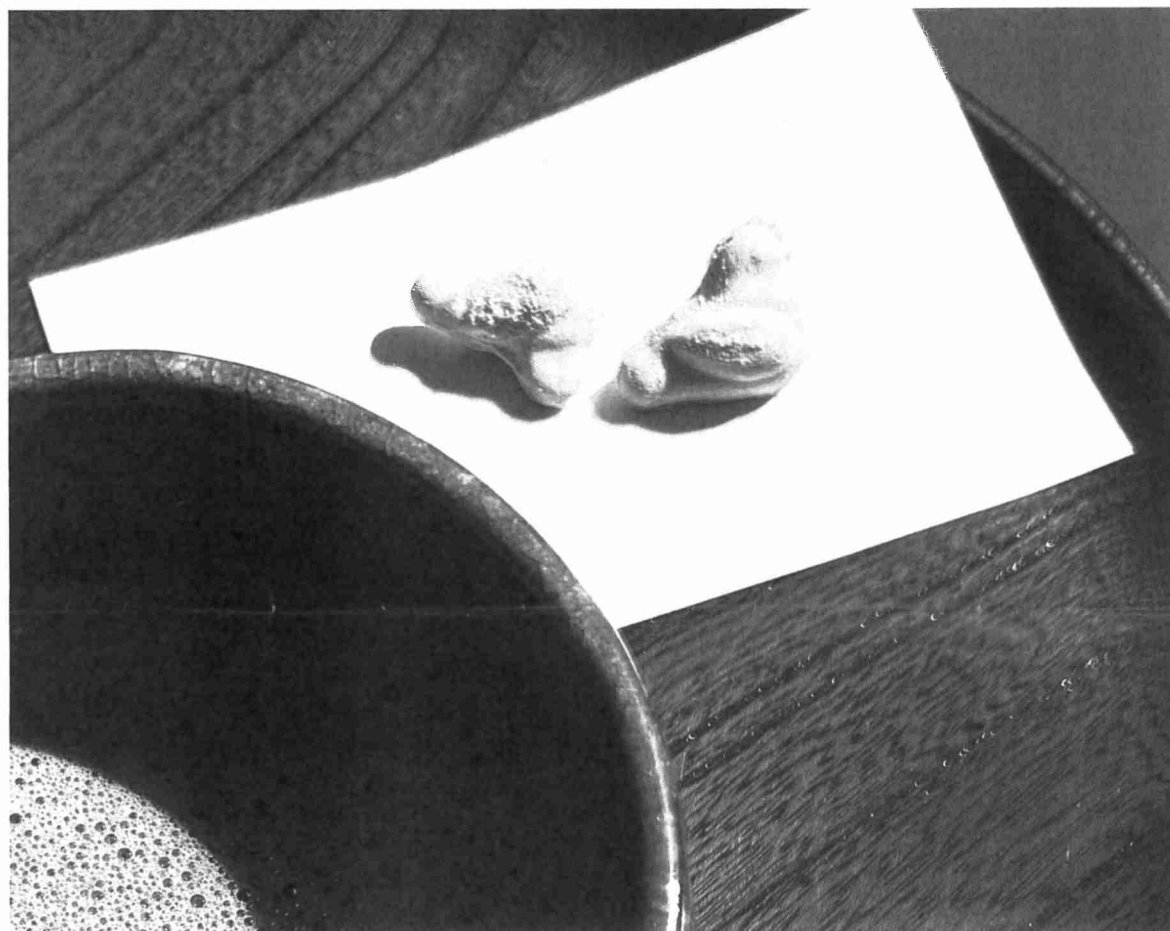
7

月号

東京教区 埼玉組

月刊●善巧寺報

〒344-0032 埼玉県春日部市備後東4丁目1番17号
TEL 048(734)7660
榎本明覚



鳩サブレで有名な鎌倉豊島屋。たまには芳ばしい豆落雁「小鳩豆楽」はいかが？

東京教区の名品・特産品

～ 鎌倉組 豊島屋の菓子 ～

▼二〇二五年七月一日▲

定例法座

毎月
十一日

◎七月十一日(水)午後二時

～三時半

於 善巧寺 法輪会館

「権化の仁(ごんけのにん)」

親鸞聖人の主著『教行信証』の総序

(『教行信証』全六巻に対する序文)に

「しかればすなわち、浄邦縁熟して、

調達(ぢようだつ)提婆達多(だいばだつた)《ダイバダ

ッタ》のこと、闍世(じゃせ)阿闍世(あじゃせ)・

《アジャセ》のことをして逆害を興

ぜしむ。浄業機彰れて、釈迦、韋提(い

だい)韋提希(ゐたいけ)《イダイケ》をして安養

を選ばしめたまえり。これすなわち権

化の仁、ひとしく苦悩の群萌を救済し、

世雄の悲、まさしく逆謗闍提を恵まん

と欲す。」

とあります。これは『涅槃経』や『観

無量寿経』に説かれる「王舎城の悲劇」

を根底に、仏がどのように彼らを救済

するのかわならず、仏の真意は、環

境条件が揃えば同じような悲劇を起
こしかねない愚かな私自身を救済す
ることにあり、そのためにこの経は説
かれたのだと言うのです。

それでは「王舎城の悲劇」とはどの
ようなお話なのでしょう。群雄割拠の
古代インド、マガダ国の王ビンビサー
ラは老いて子なく世継ぎが悩みの種
でした。占い師に相談した所、首都王
舎城北東ヴィプラ山で修行している
仙人が三年後に亡くなりその命が皇
子として転生するでしようかと告げら
れます。ビンビサーラ王は三年待つこ
とが出来ず、仙人を殺害してしまいま
す。仙人の最期の言葉は「私は来世に
おいてこの報いとして心と言葉で王
を殺害する」でした。仙人が息を引き
取ると、占い師の告げ通り王妃イダイ
ケ夫人が懐妊します。今度は、ビンビ
サーラ王は仙人の恨み言に夜な夜な
苦しめられることになるのです。王子

が誕生するとビンビサーラ王は王舎
城の楼閣から我が子を投げ捨てます。
しかし王子は指を折ったのみで命は
助かったのです。イダイケ夫人や家
臣の説得により、王子はそれ以降命を
狙われることなく立派な青年に成長
していきました。そこにお釈迦さまの
いとこであるダイバダッタが現れて、
アジャセ太子の指が折れている理由、
出生の秘密を暴露し、子殺しの王を廃
位させないとマガダ国は大変な事にな
ると唆すのです。アジャセは父王を
王舎城地下牢に幽閉し餓死させるこ
とにしました。イダイケは毎夕地下牢
に慰問に行く事が許されます。その際、
密かに身体に麦と蜜を練ったものを
塗り、ペンダントにはブドウ酒を忍ば
せて王に食べさせたのです。何日経つ
ても王死去の知らせがない事を不審
に思ったアジャセは、見張りに冠者を
派遣し、ついに母后が父ビンビサーラ

王に食事を与えている事を突き止め、母をも独房に幽閉してしまいます。イダイケ夫人はお釈迦さまが説法する霊鷲山に向かつてこの苦悩を除く方法を教えてほしいと懇願すると、お釈迦さまが現れて穢れた煩惱無き様々な仏たちの世界をイダイケに観せるのでした。イダイケが無数の仏の浄土から選んだのは阿弥陀仏の浄土で、これが『教行信証』(総序)で言われる「釈迦耆提をして安養を選ばしめたまえり」という箇所です。お釈迦さまは、阿弥陀仏の浄土の莊嚴(国)に流れる水の清らかさ、陽の光の美しさ、水晶の樹々、宝石で出来た楼閣などをつぶさに説き聞かせ、それをいつでも思い起こせるようにせよと伝えます。また浄土の菩薩方、最終的には阿弥陀仏の玄妙なるすがたを伝え、イダイケ夫人は阿弥陀仏の浄土を全て観終わり心身共に清らかになるのです。イダイ

ケ夫人は「全くお釈迦さまの力によって私は極楽浄土の安心を得る事が出来ましたが、お釈迦さまが娑婆での一生を終えられた後、心重く苦悩にあえぐ者はいかにすればよいのでしょうか」と問います。

釈尊はそうした者を捨てぬのが阿弥陀仏の阿弥陀仏たる由縁であると説き、心を浄土に留める事が出来ず、様々な縁に触れて散乱してしまう者は、心の奥底どこまでも届かぬところはない大悲悲を聞かせて頂き、南無阿弥陀仏と称えなさいと勧めるのでした。親鸞聖人は、悪人ダイバダッタも父殺しのアジャセ王も翻弄され苦悩するイダイケ夫人もそれぞれが愚かな私の心を映す鏡として、それを全て包み込んで救う広大な仏の大悲心に出会わせるために役割を演じて下さった方々、仏の使いである「権化の仁」と尊ばれたのでした。

みほとけ会月例会

※ ZOOM ミーティング ※

七月はお休みです。

※八月は、三〇日(土)に対面で暑気払い法話お食事会を開催する予定です。場所時間詳細は来月号にてお知らせいたします。

◆◆春日部だより◆◆

◎例年盆参詣をさせて頂いているお宅には参詣日時を記したお手紙を同封しております。変更・休止等のご要望がございましたら、〇四八・七三四・七六六〇(善巧寺)までご連絡下さい。

◎お寺のコンピュータハードディスク交換で住所データが正常に移行できず、宛名間違いなどが発生しております。現在は復旧しておりますが、間違い等ございましたらお寺までご連絡下さい。ご迷惑おかけした皆様誠に申し訳ございませんでした。